学校番号	302

平成 31 年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高等学校　改訂版 新訂　国語総合　現代文編」（第一学習社）						
副教材等	「品詞別 頻出漢字マスター３０００」（尚文出版） 「ニューグレード現代文 読解Ⅰ」（桐原書店） 「共通テスト 国語対策問題集 入門」（桐原書店） 「トータルサポート 新国語便覧」（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語科では、社会に出てからも通用する「伝え合う力」の育成を目指しています。国語科で学ぶことは、全ての教科の基礎学力につながるだけでなく、自分らしく生きていく源となる力を育みます。実り多い学習となるよう、「授業」を大切にし、「予習」・「復習」はバランス良く主体的に取り組みましょう。「予習」では、辞書を活用して新出語句の意味調べや本文の音読、「復習」では学んだことを整理し、重要事項についてさらに調べて、どんどんノートに付け加えましょう。そのために、ノートはできるだけ行間にゆとりを持ち、授業中は級友の意見や授業者の口頭による説明も必要に応じてメモをとり、積極的に参加してください。また、定期考査は計画を立てて臨み、提出物の期限は厳守しましょう。

2　学習の到達目標

① 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
② 思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにする。
③ 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
④ 国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取って自分の考えをまとめたり深めたりしている。 ・聞くときに、話題、話し手の意図、考えの進め方、強調点などをとらえ、必要なことを聞き取り、話し手に対し、確認したり質問したりしている。	・文章を書くねらいを達成するため、主張を明確にし、論点を整理して配列を考え、適切な語句を選ぶなど、表現に様々な工夫を凝らしたり、推敲を重ねたりしている。 ・優れた文章を分析、吟味するとき、発想の豊かさ、構成の着実さ、読み手を意識した適切な用語や引例などについて着目している。	・文章の組み立てを確かめたり、段落相互の関係を読み取ったり、さらには文体や表現技法等の特徴に注意しながら、書き手の主張や文章の内容をとらえている。	・文や文章の組み立て、語句の意味、常用漢字の読みや用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かに身につけている。

評価方法	・記述の確認（ノート・ワークシート等） ・行動の観察（授業態度・発表や協議の様子等）	・行動の観察 ・記述の確認	・記述の確認及び分析 （コンクール等の活用）	・記述の確認及び分析 ・定期考査	・記述の確認 ・行動の観察 ・定期考査 ・朝学や小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動案

前・後期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前期	評論	新しい地図を描け	○		○	◎		関　筆者の主張に触れ、これからの高校生活への豊富を新たにできるか。 書　「新しい地図」を描くことについて、自分の考えを整理することができるか。 読　筆者のものの見方・感じ方を正確に読み取っているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・指名読み・小テスト・定期考査
	小説	羅生門	○			◎	○	関　教材の内容・作者に関心を持っているか。 読　「下人」の心理がどう変化しているかを正確に読み取っているか。 知　語句の意味や用法を理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・指名読み・小テスト・定期考査
	評論	水の東西	○			◎	○	関　教材の内容に関心を持っているか。 読　西洋文化との対比された日本文化の特徴を理解できるか。 知　指示語について正しく理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・指名読み・小テスト・定期考査
	評論	ものとことば	○			◎	○	関　ことばと人間の関係について興味を持っているか。 読　ものとことばの関係について読み取ることができているか。 知　語句の意味や用法を理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査

前期	小説	旅する本	○			◎	○	関　「私」の成長を自己に引き付けて読もうとしているか。 読　時間の流れに沿って、主人公の変化を的確に読み取れているか。 知　小説の効果的な表現について理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	詩	一つのメルヘン I was born	○	◎			○	関　詩ならではのイメージを味わおうとしているか。 話　詩の展開や心情についてグループで話し合い、発表ができているか。 知　詩の表現技巧・形式を理解しているか。	音読状況の確認・発問・授業時の反応・定期考査
	表現	人権コンクールに応募（夏期課題）			◎			書　目的に応じた題材を選び、語句の選択や文体、構成を工夫しているか。（人権作文）	記述状況の点検
	随想	交換は愉しい	○			◎	○	関　コミュニケーションの本質について考えているか。 読　文章構造を把握し、全体の流れを捉えているか。 知　指示語について正しく理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	評論	「間」の感覚	○			◎	○	関　日本文化の特徴について興味を感じているか。 読　二項対立的な読解ができているか。 知　語句の意味や用法を理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
後期	小説	夢十夜	○			◎	○	関　教材の内容・作者に関心を持っているか。 読　第一夜の「百年」とはどんな時間かを理解しているか。第六夜の作中人物のふるまいを通じて作者の文明批評を読み取ることができるか。 知　語句の意味や用法を理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	評論	「文化」としての科学	○			◎	○	関　科学について興味関心を持っているか。 読　文章構成を把握し、論旨を的確に把握しているか。 知　語句の意味や用法を理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査

	短歌と俳句	その子二十 「前田純孝賞」に応募する	○		◎		○	関　短歌を読むことに楽しさや興味を感じているか。 書　有名歌人の歌で技巧を知り、自身で効果的に短歌を作成できているか。 知　短歌の歴史・表現技巧や、代表的な歌人などについて理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・「前田純孝賞」での創作状況・定期考査
	評論	グローバリズムの「遠近感」	○			◎	○	関　「遠近感」の喪失について自己に引きつけて考えようとしているか。 読　文章構成を把握し、論旨を的確に把握しているか。 知　指示語について正しく理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	小説	城の崎にて	○			◎	○	関　生と死について考察を深めているか。 読　それぞれの死について「自分」がどのように感じているか、把握しているか。 知　私小説の特徴について、理解しているか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	評論	デザインの本意	○			◎	○	関　物の形が暮らしにもたらす影響について考えようとしているか。 読　具体例と主張との関係を整理し、論理構成を把握しているか。 知　全文を正しく音読できるか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査
	評論	自律という虚構	○			◎	○	関　具体例を自分にあてはめ、筆者の主張を実感として理解しようとしているか。 読　具体例と主張との関係を整理し、論理構成を把握しているか。 知　指示語について正しく理解できるか。	発問・授業時の反応・ノートへの記述・定期考査

※　表中の観点について　関…関心・意欲・態度　話…話す・聞く能力　書…書く能力

読…読む能力　　知…知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付している。

※ その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。